

情報セキュリティ人材の育成

さまざまな工夫によって情報セキュリティの意識と知識を持った人材を育成しています。

▶ 情報セキュリティ人材を育成するしくみ

従業員一人ひとりが日常業務の中で情報資産を適切に取り扱うためには、まず、情報セキュリティに対する「意識」を高め、その上で、正しい判断や行動をするための「知識」を持つことが必要です。このような考えに基づき、さまざまな場面で、全従業員に対する意

識啓発や知識教育を実施しています。

また、情報セキュリティを全員参加型の活動として組織ごとに組み込み、維持・改善するために、組織内でマネジメントシステムを支えるキーパーソンを任命しています。

▶ すべての従業員を対象とした意識啓発と知識教育

情報セキュリティに対する「意識」や「知識」の定着には、さまざまな機会や方法で繰り返し意識啓発や教育を実施することが必要です。

全従業員の「意識」に働きかけるトップメッセージ

経営者が毎月発信するメッセージの中で、適宜、情報セキュリティの意識啓発を行っています。経営者が自らの言葉で、全従業員に対して直接メッセージを発信することで、情報セキュリティに対する「意識」を高めています。

グループの全役員・従業員を対象としたウェブ教育

キャノン MJグループでは、グループの全役員・従業員を対象としたウェブ教育を毎年行っています。講座で必要な「知識」を習得し、確認テストでその定着度を測っています。不正解の設問については、その場で解説を確認することで、正しい「知識」を習得します。

情報セキュリティに関する情報配信

キャノン MJグループでは、コンプライアンス活動の一環として、グループの全役員・従業員へメールマガジン「Monthly Compliance News」を毎月配信しています。この活動と連携し、情報セキュリティに関する旬のテーマを配信することで、「知識」の習得や「意識」の啓発につなげています。

役割に応じた意識啓発を行う対面教育

新入社員や新任管理職には、それぞれの立場に応じたセキュリティ「意識」をしっかりと持ってもらう必要があるため、対面形式にこだわって教育を実施しています。



教育用コンテンツの例
(スライドとあわせて、そのほかに表示される解説から学習します。)



新入社員に対する対面教育

▶ 職場におけるリスク管理意識の向上

キャノン MJグループにて年2回各職場(課)で実施している「コンプライアンス・ミーティング」では、経営上重要なリスクとして位置付けられたテーマの中から、自部門の事業や業務にとって影響の大きいコンプライアンスリスクの洗い出しと、その対策について協議しています。その中で、機密漏えいリスクやサイバー攻撃リスクなど、情報セキュリティに関連するテーマが数多く取り上げられ

ています。各職場の特性に応じたリスク対策を協議することによって、情報セキュリティリスクの低減につなげています。



コンプライアンス・ミーティング